

スコアボード

第43回 横浜少年サッカー大会 (市長杯)
 ~3月4日(日) 日産フィールド小机 ほか

第20回 日産スタジアム杯 少年サッカー大会
 ~2月25日(日) 日産スタジアム ほか

第28回 横浜少女サッカー大会
 2月25日(日)・3月24日(土) 玄海田公園



発行 一般社団法人横浜サッカー協会
 編集 同 広報委員会
 〒222-0033
 横浜市港北区新横浜2-6-3
 DSM新横浜7F
 TEL(045)474-4315 FAX474-4316
 http://www.yokohama-fa.or.jp
 印刷 神奈川新聞社
 〒231-8445 横浜市中区
 太田町2-23
 TEL227-0739 FAX227-0785

第49回 横浜国際チビツ子サッカー大会

優勝

U12 1部 マリノスPr 2部 折本SC
 U10 1部 バディーSC 2部 FCビッツ
 U8 バディーSC 少女の部 金沢ガールズ



U10-1部で優勝したバディーSC



少女の部で優勝した金沢ガールズ

第49回横浜国際チビツ子サッカー大会は、平成29年9月9日に開幕し、各クラスで予選リーグ、決勝トーナメントを行い、12月3日のU8の部の決勝戦で約3か月にわたる熱戦の幕を閉じた。

U12の部は、全日本少年サッカー大会神奈川県予選への出場権をかけた後期FA

リーグを兼ねて行った。その結果、U12-1部決勝戦では横浜F・マリノスPrがあざみ野FCを3-0で倒し優勝した。またU12-2部では折本SCがクライムイレブンを4-1で下し優勝した。U10-1部ではバディーSCがPK戦までもつれ込んだ熱戦の結果優勝した。U10-2部では



新年あけましておめでと
 うございます。
 皆様には委員会諸行事にご協力頂き感謝申し上げます。新しい年を迎え、新たな抱負を胸に新春の門出の祝いをされていることでしょう。

昨年はい例年にな
 い豪雨による影響を受け行事を延期せざるを得ない状況の下、関係者の方々の協力により特に支障をきたさずことなく全ての行事を終了すること

創立85周年を機に...

横浜サッカー協会 会長 内田 渉

新春のごあいさつ

係されました多くの方々の並々なご努力が今日の協会の基盤となつていていつても過言ではありません。歴代会長ならびに役員の皆様には財政面、施設面等、多くの課題を抱えながら公的機関、企業等のご理解を得、市民スポーツとしてのサッカーの発展、人間育成に努力された結果が今日の協会に継承されてきたものと確信しております。

報告をさせていただきます。これは、皆さまの日頃の活動と歴代役員の方々の功績が評価されたものと確信しています。

今年は、横浜サッカー協会が創設から85年の節目の年を迎えることとなりました。創設当初より横浜サッカー協会運営にご尽力いただきました歴代の役員の皆様をはじめ関係者の方々の協力により、横浜市民スポーツの二環としてサッカーがより一層盛り上がるよう努力していく所存です。

この85周年を節目に、横浜市民スポーツの二環としてサッカーがより一層盛り上がるよう努力していく所存です。最後には皆様のご健勝とご活躍を祈念するとともに、協会への一層のお力添えをお願いし新年のご挨拶とさせていただきます。

生涯スポーツ優良団体 横浜サッカー協会

文部科学省から受賞



(二社)横浜サッカー協会は10月6日、文部科学省から「生涯スポーツ優良団体」として表彰された。この賞は、生涯を通じて健康の保持・増進を目的にスポーツの普及活

動している個人、団体に贈られるもので、神奈川県スポーツ課の推薦により授与された。横浜サッカー協会は、サッカーを生涯スポーツとして捉えてキッズから少年少女、社会人、シニアまで幅広い年齢層で活動していることが評価されたものとみられる。表彰式に出席した内田渉会長に表彰状と楯(写真)が授与された。

FCビッツが優勝した。U8の部ではバディーSCが優勝した。

少女の部は、12月17日に予選リーグ(参加11チーム)の上位3チームによる決勝リーグ戦が行われた。各クラスの熱戦の結果は次の通り。

☆決勝戦
 FC 2-0 ニッ橋・ビッツ
 相 沢

☆決勝戦
 折本SC 1-0 クライムイレブン

◎U10-1部
 ☆3位決定戦
 SCH 1-0 大豆戸FC
 ☆決勝戦
 バディー0-0 横浜F・SC (PK4-3)マリノスPr

◎U12-1部
 ☆3位決定戦
 野庭キッ 1-1 JFC
 カース (PK1-0) FUTURE
 ☆決勝戦
 横浜F・マリノスPr 3-0 あざみ野FC

◎U12-2部
 ☆3位決定戦
 山田若竹 1-1 ライフネットSC (PK3-2)トSC

◎少女の部
 優勝・金沢ガールズ
 準優勝・横浜ウインズ
 第3位・原なでしこ横浜

バディーSCが優勝 NHK杯 3チームが県予選に

2017年度NHK杯8人制少年サッカー大会兼県大会



横浜市予選(NHK横浜放送局、横浜サッカー協会共催)が11月3日、4日の2日間にわたり、しんよこフットボールパークで行われた。この大会は18区のU11の代表チームによる大会で、12月開催の県大会の横浜市代表を決める予選会を兼ねている。1日目は4チーム5ブロックの予選リーグを行い、各ブロック1位の5チームと2位(ワイルドカード)の3チーム計8チームが2日目の決勝トーナメントに進出した。決勝戦はワイルドカードから勝ち上がったバディーSCと横

ハーフタイム

あけましておめでとございます。いよいよ4年に一度のワイルドカッププロシア大会が6月に開催される。昨年12月に組み合わせ抽選会があり、コロンビア、セネガル、ポーランドの順で戦うことに決まった。日本と戦う3チームにはいずれもワールドクラスの選手がおり、世界ランク上位の強豪ぞろいだ。とはいえ幾多の逆境を乗り越えてきたハリルジャパンに期待しよう。ワイルドカップ出場を決めた2017年は横浜サッカー界にとっ

てはうれしいことばかりではなかった。一時はサッカーのメッカとなったマリノスタウンに続き、みなとみらいスポーツパークの閉鎖である。土・日に訪れると少年から丁度までの試合を観戦することができた。サッカー狂にとっては寂しい限りである。横浜の地にサッカー文化、スポーツ文化を根付かせるためにもサッカーパーク、スポーツパークの環境整備が急務である。キッズからシニアまで各種事業や大会がスムーズに運営できるように。2018。(熊)

浜港北SCの対戦となりバディーSCが延長戦を制し、3位決定戦は横浜F・マリノスPr対FCカルパで横浜F・マリノスPrが勝利した。総合順位は次の通り。
 優勝・バディーSC(南区)
 準優勝・横浜港北(都筑区)
 第3位・横浜F・マリノスPr(前年度1位)
 第4位・FCカルパ(緑区)
 12月に行われた8人制神奈川県予選には上位3チームが進出し、見事バディーSCが優勝した。

3月に栃木県で行われる関東大会に出場し、5月のチビツピックを目指す。



横浜社会人が連覇

第56回 日朝親善サッカー大会



第56回横浜市長杯争奪・日朝親善サッカー横浜大会は12月3日、ニッパツ三ツ沢球技場において開催された。この大会は、横浜市民と神奈川県在住の在日朝鮮人の人々が



サッカーを通して、日朝両国民の友好を深めることを目的に始まったもので、半世紀以上の歴史を刻んできている。今回の大会は当初、10月29日に行われる予定であったが台風のため延期されていた。このため、神奈川県立光陵高校対神奈川県立光陵高校の親善サッカー試合と、横浜猛蹴サッカー試合と、横浜猛蹴LEGENDD対神奈川朝鮮蹴球団が1点をとり、反撃を見せたものの横浜猛蹴LEGENDD

指導者86名が受講

D級コーチ養成講習会

少年少女サッカー指導者の養成を目的とした「日本サッカー協会公認D級コーチ養成講習会」が10月4日、5日の2日間にわたり、しんよこフットボールパーク、スポー

このD級コーチ養成講習会には、少年少女サッカーの指導者を養成するために基本となる指導方法についての講習。

このD級コーチ養成講習会には、少年少女サッカーの指導者を養成するために基本となる指導方法についての講習。

の堅い守りと得点力により7対2で横浜猛蹴LEGENDDが横浜市長杯を争奪した。試合結果は次の通り。
〔日朝親善サッカー横浜大会〕
神奈川県立光陵高校4-1 神奈川朝鮮蹴球団
〔横浜市長杯争奪戦〕
横浜猛蹴LEGENDD7-1 2神奈川朝鮮蹴球団

少女サッカーが活性化



横浜少女サッカーが盛り上がりを見せている。近年のなでしこジャパンの活躍などから女子サッカーの人気が高まり、少女サッカー人口が増加少女チーム数も増えている。従来からの少女サッカー大会、カトレア杯、すずらん少女サッカー大会に加えて、2014年からは国際チビ子サッカー大会に少女の部が設けられたのははじめ、県内チームとの交流戦である横浜招待少女サッカー大会の開催、そして今年度からは区選抜少女サッカー大会が行われて大会数も6大会に増え、横浜少女サッカーは活性化してきている。

港北区選抜が優勝

第1回区選抜少女サッカー大会

第1回横浜市区選抜少女サッカー大会(ニッパツ横浜FCシールド杯)は、7月8日に予選リーグ、7月9日に順位トーナメント戦、11月23日に決勝・3位決定戦が行われた。

この大会は、少女サッカー人口が増えているとはいえず、少女の単独チームとしての活動が難しいため、少女の区選抜として活動ができる機会を与えて少女サッカーの活動が盛んになるよう働きかけることを目的に、ニッパツ横浜FCシールド杯の冠大会として今年度の新規事業として開催された。

第1回大会は、18区のうち16区(中区、西区が合同チーム)が参加、4ブロックに分かれてリーグ戦を行い、リーグ



第4回すずらん少女サッカー大会は、11月26日に玄海田運動公園で6チームが参加して行われた。

優勝 横浜ウインズ

第4回すずらん少女サッカー大会

大会は、3チームずつのリーグ戦、そしてリーグの順位同士での試合を行った。横浜ウインズと青葉ガールズでの優勝決定戦は、横浜ウインズが1対0で青葉ガールズを下し優勝した。

優勝・横浜ウインズ
準優勝・青葉ガールズ
第3位・緑ピクシーズ
第4位・鴨志田都築
第5位・SHガールズ
第6位・旭ガールズ



第1回目の覇者となった。3位決定戦は、南区選抜2対1瀬谷区選抜。

緑ピクシーズが連覇

第25回カトレア杯少女大会

第25回カトレア杯少女サッカー大会が9月23日、玄海田運動公園で12チームが参加して行われた。大会は、トナメント方式で行われた。勝ち上がってきた緑ピクシーズとSHガールズの決勝戦と



なり、試合は0対0、PK戦も3対3で決することができずコイントスの結果、緑ピクシーズが優勝した。また、1回戦で敗退したチームはフレンドリー戦を行った。



優勝・緑ピクシーズ
準優勝・SHガールズ
第3位・原FCなでしこ横浜、一本松サッカークラブ

元気いっぱいキッズ大会

今年度2回目の2017スパーキッズゲームサッカーフェスティバルが9月30日に、横浜みなとみらいスポーツパークにおいて開催された。今回は、37団体42チーム503名のキッズが参加し、応援の保護者からの熱い声援を受けながら元気いっぱいにピッチを駆け回っていた。各区の少年チームにおいて



も、キッズから構成するチームが増えてきており、このスパーキッズサッカーフェスティバルへの関心も高まってきている。

法人会員一覧

横浜マリノス(株)	JFE東日本ジーエス(株)
神奈川新聞社	(株)横浜アーチスト
(株)横浜シミズ	(有)フリースタイル
横浜食品開発(株)	富士ゼロックス神奈川(株)